

平成29年度共同研究「企業の教材開発に対する技術支援」 第二四半期 活動報告！！

平成29年4月から生産技術科 黒木 猛教授を中心に、平成29年度共同研究「企業の教材開発に対する技術支援」を実施しています。九州職業能力開発大学校では、福岡県を中心とした企業様と装置開発や人材育成に関する様々な共同研究を実施しています。その一環として北九州市在住の企業様と人材育成を目的とした教材開発をしています。

今回の共同研究の主な目的は以下の3点です。

- ① 技能検定に向けた技能習得と「数値制御フライス盤作業1級」の取得。
- ② 技能検定用「指導マニュアル」の教材開発。
- ③ 開発した教材を用いた後輩職員の指導。

この第二四半期では、第1点目の目標である「数値制御フライス盤作業1級」の取得を目指して、共同研究のチームで「工程分析」「指導方法の検討」、「課題加工」といった実践的な取組を行って来ました。8月初旬に技能検定を受験し9月29日（金）に合格発表が福岡県職業能力開発協会から有りましたが、共同研究に参画している企業側の職員が見事に合格されました。第2点目の目標である「技能検定を通しての教材開発」についても資料を蓄積し、徐々に教材の形が見えて来たところです。第三四半期につきましては、さらに開発している教材を充実し、第3点目の目標である「企業の後輩職員の指導」を能力開発セミナーとして実施して行きたいと考えています。また、本共同研究の成果を「職業能力総合大学校フォーラム2017」及び「精密工学会 九州支部 第18回学生発表会」で発表すべく準備をしています。

(文責 八崎)

共同研究の名称：企業の教材開発に対する技術支援

共同研究の期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

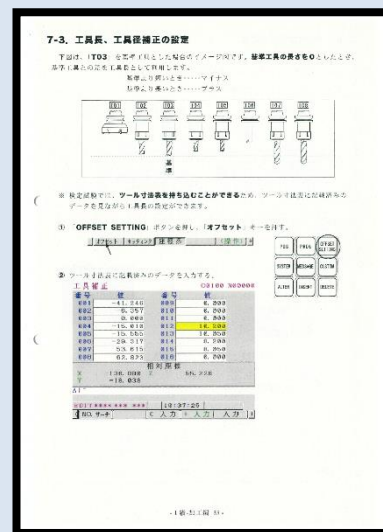
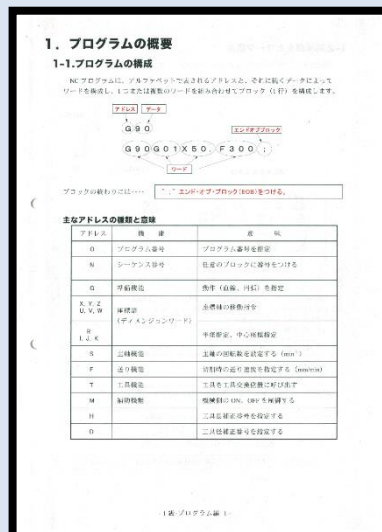
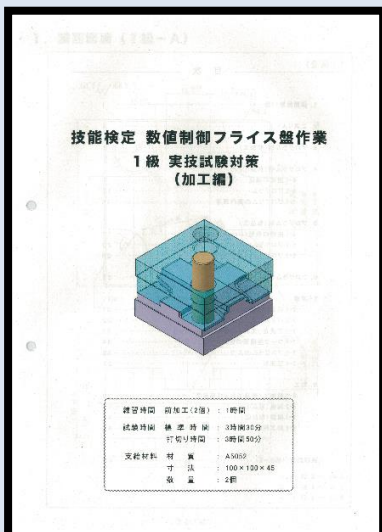
共同研究のメンバー：大庭英利、黒木猛、楠元智久、福原祥雅、宮崎大和、八崎透



技能検定の受験状況



グループの精鋭による教材開発



開発している教材の1例